

本 方 針 運 営 基	No.	サービス の種別	総括
1 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします	1-1	図書館利用者 層の拡大	より多くの市民に市立図書館を利用していただくため、年齢層を意識した事業やきめ細かな情報提供を実施したが、少子化の影響やライフスタイルの変化もあり、全国的に図書館利用が減少傾向にある中で、第2次グランドビジョン策定以降実利用者の減少傾向が続き、目標である実利用者率 25%を達成することができなかった。 しかし新規登録者は増加傾向にあり、今後分館の開館日数・開館時間帯の拡大や資料のさらなる充実を図るなど、新たな取り組みを進める中で、利用者の増加は可能と考えており、今後利用者数の増加につながるよりの確な取り組みを進めていく。
	1-2	子ども読書活動の推進（学校図書館等との連携）	本市では、子ども読書活動を市立図書館の特色の一つと位置付け、枚方市子ども読書活動推進計画（第2次）の策定、同計画に基づく子ども向けのさまざまな事業実施や中高生向けの読書環境の整備、中央図書館のこどものフロアの開館時間帯の延長、調べ学習コンクールなどの学校との連携事業の実施、学校図書館への学校司書の派遣や市立図書館から学校に団体貸出図書を搬送する学校巡回便の運行（試行）の開始、子ども読書活動を支援する読み聞かせボランティアの育成など、子ども読書活動の推進に係る事業や環境整備を積極的に行った。 読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであり、本市の小・中学生の不読率が他の自治体に比べ高い傾向にある（平成25年度調査）ことを踏まえ、今後市立全中学校への学校司書の派遣をはじめ、さらに学校との連携を深めながら、子ども読書活動の推進に力点を置いた取り組みを進めていく。
	1-3	成人サービスの充実	成人の利用促進のため、従来の一般教養中心の蔵書・資料構成から、課題解決にも役立つ蔵書・資料構成に改め、図書・雑誌、オーディオ・ビジュアル資料、商用オンラインデータベースなど、幅広い資料の収集・提供を行った。 また、図書館における文化活動として、読書会やロビーコンサート、障害者理解を促進するバリアフリー映画上映会等を実施し、その実施回数を増加させるなど成人サービスの充実に努めた。 変化の激しい現代社会においては、変化に対応するため、常に新たな知識を身につけ、学び続けることが必要であり、今後は情報活用能力（情報リテラシー）の育成やビジネス支援など、市民の課題解決に役立つ知識や情報の提供に努め、役に立つ図書館を目指していく。
	1-4	高齢者サービスの充実	通常の大きさの活字が読みにくい高齢者や弱視者向けに、大活字図書の収集に努めるとともに、高齢者の関心の高い医療・介護関連の情報収集に努めた。 今後は成年・任意後見制度や遺言、自分史、闘病記など、より良く生きるために必要な資料のさらなる収集に努めるとともに、ボランティア機会の提供を通じて高齢者の生涯学習に資するよう継続的に取り組みを進めていく。

本 方 針 運 営 基	No.	サー ビス の 種 別	総 括
2 に 伝 え る 図 書 館 を め ざ し ま す 図 書 館 資 料 を 計 画 的 ・ 系 統 的 に 収 集 し 、 未 来	2-1	図 書 館 資 料 の 充 実	枚方市立蔵書計画を策定し、市民ニーズを反映した蔵書と学問体系を意識した知識・教養を高める蔵書のバランスを重視した蔵書構成を目指して、職員が持つ専門的な知識・経験を生かして選書会議を開催し、図書やオーディオ・ビジュアル資料の充実に努めた。 また、定期的に図書の入れ替え等を行い、魅力ある書架の維持・向上に努めた。 資料の充実のためには、選書を行う職員の力量の向上が必要であり、今後さらなる職員の研修に努めるとともに、状況に応じた蔵書計画の改訂、選書方法の改善などを進め、より魅力的で効果的・効率的な資料の収集・提供を行っていく。
	2-2	枚 方 地 域 コ レ ク シ ョ ン の 構 築 と 専 門 的 な レ フ ァ レ ン ス	枚方に関する資料を幅広く収集する枚方地域コレクションについては、コレクションの充実、書誌データの整理を行うとともに、郷土・行政資料等の電子化にも取り組み、資料の検索・提供環境の整備を行った。 今後は、枚方地域コレクションの認知度の向上と、さらなるコレクションの充実、郷土・行政資料等の電子化に向けた取り組みを進めていく。
3 市 民 の ニ ー ズ に 応 え て 、 役 に 立 つ 図 書 館 を め ざ し ま す	3-1	イ ン タ ー ネ ッ ト 予 約 シ ス テ ム の 充 実 や リ ク エ ス ト サ ー ビ ス の 推 進	インターネット予約システムの改修を行い、「カート方式」と「セット予約方式」を導入し、システム利用における利便性を向上させた。また、リクエストについては、自治体間で図書等の貸借を行う相互貸借を基本に可能な限り対応し、利用は横ばい傾向にあるが、毎年度70万冊以上のリクエスト対応を行った。今後は、引き続き予約・リクエスト図書の提供体制の充実に努めるとともに、蔵書の充実に図り、より早く予約・リクエスト図書を提供できるよう努めていく。
	3-2	レ フ ァ レ ン ス サ ー ビ ス （ 調 べ 物 相 談 ） 等 の 充 実	レファレンスサービスの周知に努め、求めに応じて必要な資料・情報の検索・提供を行うとともに、読書相談等にも応じ、市民の課題解決に向けた支援を行った。また、問い合わせの多い内容について、その調べ方に係る案内（パスファインダー）を作成し、窓口やホームページで情報提供を行うなど、レファレンス事例の公開に努めた。 情報の多様化・高度化が進行する社会の中で、市民の課題解決に向けた図書館における支援は重要性を増しており、職員が持つ専門的な知識・技術を生かして、今後ともレファレンスサービスの充実に取り組んでいく。
	3-3	情 報 通 信 機 器 を 活 用 し た サ ー ビ ス の 充 実	商用オンラインデータベースやインターネットのアクセスできる端末の提供に努め、その利用が増加した。また、電子書籍の導入に向けた調査研究を行ったが、現在は電子書籍提供企業間での規格の不統一や資料の蓄積、コスト、コンテンツの魅力などに課題があり、調査研究の継続が必要であることがわかった。 今後は課題解決ツールとしての商用オンラインデータベースやインターネット端末のさらなる充実、電子書籍の導入に向けた積極的な情報収集を進めていく。

本 方 針 運 営 基	No.	サー ビス の 種 別	総 括
4 だれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざします	4-1	障害者・高齢者サービスの充実	大活字図書収集、録音・点字図書・字幕付き映像資料の製作・収集など資料の充実を図り、その提供を行うとともに、対面読書や録音図書の製作に従事する音訳協力者の育成を行い、高齢者・障害者に対するサービス環境の整備に努めた。また、バリアフリー行事や宅配サービスを行い、障害者を含めた読書環境の充実を図った。 自ら録音図書や字幕付き映像資料の製作まで行う障害者サービスを実施している枚方市立図書館は、公共図書館の中でも稀有な存在であり、今後とも先進的なサービスを提供するとともに、その先進性を広くアピールしていく。
	4-2	図書館活動への市民参加と市民意見の反映	中央図書館で毎年100人程度の市民に対しボランティアの機会を提供し、市民の生涯学習資するとともに、図書館サービスの充実を図った。また、社会教育委員会議や利用者アンケート、窓口へのご意見箱の設置等により、専門家や市民意見の収集に努め、図書館活動に反映した。 今後はボランティアの各グループのスキルの向上に向けた取り組みを進め、また、さまざまな手段を用いて市民意見の収集に努めるとともに、図書館の利用状況の分析等を通じて、市民ニーズの把握に努め、より市民意見が反映される図書館運営に向けた取り組みを進めていく。
	4-3	図書館の施設・設備の改修・改善	市の市有建築物保全計画に基づき、施設の改修を行った。また、老朽化が進行する香里ヶ丘図書館の耐震診断を行うとともに、他館や利用状況に比して閲覧室が狭く、バリアフリー化が遅れている香里ヶ丘図書館の建替えを視野に必要な検討を行った。 今後は引き続き市有建築物保全計画に基づく施設改修に取り組むとともに、香里ヶ丘図書館の建替えに向けた検討を進めていく。
5 効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします	5-1	効率的効果的な運営体制の構築	多様な任用形態の採用による適材適所の職員配置を行い、人件費を削減した。自動車文庫は、利用者の安全の確保の観点から、路上ステーションの見直しを進めた。 また、「これからの枚方市立図書館の運営について」をまとめ、中央図書館を司令塔とした、中央図書館・分館・分室・自動車文庫の最適な役割分担と効率的効果的な運営体制についての考え方を明らかにした。 今後は「枚方市立図書館第3次グランドビジョン」の中で、さらなる効率的効果的な運営体制の構築に向けた方向性を確立していく。
	5-2	職員の資質の向上と人材育成	図書館業務に係る外部の研修会に職員を派遣し、その研修結果の職員間での共有化に努めるとともに、市立図書館内での実務研修等を実施することで、職員の資質の向上を図った。 今後は、市立図書館の司令塔機能を担う人材育成に向けた、より高度で専門的な知識・技術の研修に努めるとともに、高齢化が進む専門職員が持つノウハウの継承も課題として取り組んでいく。

本方針 運営基	No.	サービスの 種別	総括
5 効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします	5-3	適切な蔵書管理	全館で年に1度蔵書点検を行う体制を確立するとともに、全分館に盗難防止装置（BDS）、複数の分室に防犯ミラーを設置し、蔵書管理体制の充実に努めた。また、長期延滞等の悪質なルール違反に対して厳正な措置をとるため、枚方市図書館条例施行規則の改正を行った。 今後は、適正な蔵書管理とともに、より魅力的な蔵書を維持する蔵書管理を行うため、枚方市立図書館蔵書管理基準の改正も含めた取り組みを進めていく。
	5-4	機械化・情報化などの検討	平成23年度に自動貸出機の増設を行ったが、その利用は下降傾向にあり、職員による利用の働きかけの状況や費用対効果の観点から検証を行う。また、IT化の進行に伴い、情報提供環境の整備などについて、今後検討を進めていく。
(注釈) ★注1 実利用者率…枚方市の人口に対する、年度中に1回以上枚方市立図書館で貸出サービスを利用した人の割合。 ★注2 ヤングアダルト（YA）…図書館サービスの対象としてのヤングアダルトは、主に中学生・高校生を指す。 ★注3 商用オンラインデータベース…ネットワークを経由し遠隔地から利用できる企業などが開発・構築し、販売しているデータベースの総称。 ★注4 相互貸借…図書館利用者の求めに応じて、図書館同士が所蔵している資料を貸し借りすること。			

枚方市立図書館第2次グランドビジョンの全体総括

枚方市立図書館第2次グランドビジョンは、中央図書館開館以降に現れてきた新たな課題や本市の財政状況を踏まえて、2つの市立図書館のあるべき姿（理念）と5つの運営基本方針を定め、平成23年度から27年度までの中期的なビジョンとして、市立図書館のあるべき姿の実現に向けた具体的な方向を明らかにしたものである。

運営方針の1つ目、「市民の生涯学習を支援する図書館をめざします」では、利用者層の裾野を広げるべく実利用者率の約20%から25%への拡大を目指したが、少子化の影響やライフスタイルの変化等もあり、全国的な図書館利用の減少傾向の中で、目標を達成することができなかった。しかし、市立図書館の特色と位置づけた学校図書館との連携をはじめとする子ども読書活動の推進や、従来の一般教養中心の蔵書構成から、課題解決にも配慮した蔵書構成への転換や情報リテラシーに取り組み、各種成人向け事業等を実施する成人サービス、大活字図書の収集や高齢者の関心の高い分野の資料の収集をはじめとする高齢者サービスの充実などに取り組み、取り組み全体として、市民の生涯学習支援の役割を果たすことができたと考えている。

運営方針の2つ目、「図書館資料の計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします」では、これまで策定していなかった枚方市立図書館蔵書計画を策定し、蔵書の選定から魅力ある書架の維持・向上、魅力の薄れた蔵書や破損した蔵書の書庫入れや除籍に至る一連の蔵書管理につい

て、第2次グランドビジョンで示した考え方に基づく蔵書の構築を可能にした。また、もう一つの市立図書館の特色として位置づけた枚方地域コレクションの構築と専門的なレファレンスに取り組み、郷土・行政資料の枠を超えた枚方をキーワードとした資料収集とコレクションに係る専門的なレファレンスを行った。この取り組みを経て、計画的・系統的な図書館資料の収集と保存体制が確立できたと考えている。

運営方針の3つ目、「市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします」では、インターネット予約サービスのカスタマイズやリクエストサービスへの積極的な対応により、利用者の利便性の向上を図り、幅広い要求に答えるだけでなく、レファレンスサービス通して、市民の課題解決に努めた。また、商用オンラインデータベースやインターネット端末の提供を行い、市民のニーズに応え、役に立つ図書館運営を行うことができたと考えている。

運営方針の4つ目、「だれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざします」では、先進的な障害者・高齢者サービスのさらなる充実、社会教育委員会議や利用者アンケート等による専門家や市民意見の収集と図書館運営への反映、施設の改修・改善を通して、市民の声を生かしながら誰もが使いやすい図書館の構築が進んだと考えている。

運営方針の5つ目、「効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします」では、多様な任用形態の採用による、適材適所の職員配置に伴う人件費の削減、第3次グランドビジョンにつながる「これからの枚方市立図書館運営について」の公表、サービス向上に向けた職員研修の実施や適切な蔵書管理、機械化、情報化の推進等を通して、効率的効果的なサービス提供体制が確立できたと考えている。

以上から、枚方市立図書館第2次グランドビジョンについては、全体としてその目的を達したと考えており、残る課題については第3次グランドビジョンに引き継ぎ、課題解決に向けた取り組みを進めていく。

第3次グランドビジョンでは、貸出利用だけでなく、場としての図書館をより多くの市民に利用していただけるよう、気軽に足を運びたい図書館づくりを目指す方向性を明確にするとともに、中央図書館を司令塔とする図書館各施設の役割分担の再構築、効果的・効率的な運営により生み出した資源の資料の充実や学校図書館支援等への再配分などを通して、今まで以上に魅力ある図書館を作るための方向性を明確にしていく。